

令和5年度事業計画・予算決まる

3月の理事会、評議員会で、令和5年度の事業計画ならびに予算が可決されました

事業方針

新型コロナウイルス感染症以上の位置づけが5類に引き下げられました。令和5年度は、当面は感染症対策を継続し、このような中でも取り組める活動を模索します。地域づくり、人づくり、組織づくりを重点目標に、社会福祉協議会が住民と共に地域の課題の解決に取り組んでいく組織として、長く継続できるよう、やさしさをつなげる地域づくりを進めてまいります。

事業計画

1 地域づくり

自治会や関係団体との連携を図りながら、より身近なところでの見守りや支え合いといった志す縁（志縁）づくりと、従来からの互助活動（隣人愛、向こう三軒両隣）を合わせて暮らしを支える仕組みを作ります。

(1) 自治会組織と連携した見守り活動の推進
(2) 福祉を推進するためのネットワークづくり

福祉目標

やさしさを つなげる 地域づくり



給食サービス事業

2 人づくり

ボランティア活動をより身近に、気軽に、参加できる機会をつくり、ひとりでも多くの人材を育成していきます。

(1) 新たなボランティア層の発掘、育成、協力

※第12回福祉大会の開催

(2) 在宅福祉事業の展開

※ひとりぐらし高齢者お買い物ツアーを各地区1回予定

※社協における生活困窮者支援体制強化事業（県社協補助金）

※生活困窮者相談支援事業（町受託）



福祉教育

3 組織づくり

地域福祉を推進する中核的な組織として、制度の狭間にある方の不安や課題を解決するために、各機関、団体が協力し、その方の暮らしを支えることのできる組織づくりを進めます。

(1) 役員会、各種委員会、連絡会の推進

(2) モデル地区指定に向けた地区担当制度

(3) 地域支援（志縁）づくりのための財源づくり



子育てイベント

ボランティア活動「オンラインでの施設訪問」

※民間企業との協働による、困窮者支援などに取り組み、ミニ二福祉バザーの開催を予定
※新規、重点事業

社会福祉協議会とは

社会福祉法に定められた「地域福祉の推進を図ることを目的」とする民間の非営利法人です。各市区町村に一カ所設置され、各種団体、住民の協力を得て、それぞれの地域の特色に合わせた事業展開を行っています。

また、上郡町社協の運営にかかる費用は、事務職員の人件費が町や県社協からの補助金や受託金である以外は、町民皆さまからの協会費をはじめ、福祉バザー、赤い羽根共同募金、善意銀行への預託、介護保険収益でまかなわれ、それぞれの財源の特徴に合わせた活用をしています。

社協事業にご協力、ご支援をよろこぶお願ひです

令和5年度上郡町社協予算

収入の部		単位：千円
内 訳	説 明	金 額
会費	一般会費、特別会費、団体会費など	4,906
寄付	善意銀行預託金、善意の募金	2,032
補助金	町・県社協からの補助金、共同募金、歳末たすけあい配分金	30,948
受託	町・県社協からの受託金	6,354
貸付	貸付事業による収入	309
事業	給食サービスなどの利用料収入	2,330
介護保険事業	訪問介護事業・居宅介護支援事業の介護報酬および利用者利用料金など	27,432
障害福祉サービス等事業	障がい児・者ホームヘルプ事業の介護報酬等	4,152
その他	預金利息、積立資産取崩収入等	2,494
合 計		80,957

支出の部		単位：千円
内 訳	説 明	金 額
法人運営事業	法人運営に関する事務、建物賃借料・使用料、事務局職員人件費他	24,132
地域福祉活動推進事業	給食サービス、送迎サービス、ふれあい・いきいきサロン他	3,623
ボランティアセンター運営事業	ボランティアセンター運営、ボランティア講座他	7,682
その他の福祉活動	広報紙発行、心配ごと相談、日常生活自立支援事業、資金貸付事業他	5,929
共同募金配分金事業	子育て支援事業、法律相談、給食サービス他	3,546
歳末たすけあい配分金事業	歳末たすけあい配分金事業（生活困窮者世帯お見舞い他）	1,201
善意銀行運営事業	善意の日お見舞い、その他地域福祉活動	235
介護保険事業	訪問介護事業、居宅介護支援事業、受託事業	30,270
障がい者福祉サービス事業	障がい児・者ホームヘルプ事業、地域生活支援事業	3,033
その他	固定資産取得、職員退職金積立	5,308
合 計		84,959

当期資金収支差額	-4,002
前期末支払資金残高	64,259
当期末支払資金残高	60,257

※令和5年度上郡町社協の予算と事業計画については、紙面の都合により一部のみ紹介しています。詳しい内容はホームページまたは、社協事務所の窓口でご覧いただけます。